

JA全農 とくしま情報

地域の話や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2023
7月号
No.765



阿波山田錦の田植えを行う参加者

マンスリーレポート 2

- ・JAあわ市で「阿波山田錦」田植え交流会
- ・令和5年度農産物検査員育成研修開講
- ・令和5年度徳島県甘藷消費拡大協議会総会
- ・令和5年産早堀り甘藷出荷協議会
- ・令和5年度徳島県蓮根消費拡大協議会総会
- ・令和5年産蓮根出荷協議会
- ・JA板野郡とJA東とくしまで農機展示会開催
- ・農業機械新製品発表会
- ・大阪の園児や小学生が農産物の食育学習

営農コラム 6

旬の野菜でおうちごはん 7

・簡単トマトリゾット

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 8

・その⑧ ～半田そうめん～

交通安全のお知らせ 8

・令和5年度交通マナーアップ推進県民運動

トピックス 9

マンスリーレポート

～安全・安心な酒米づくりを実践～

JAあわ市で「阿波山田錦」田植え交流会

6月16日、JAあわ市主催による酒造好適米「阿波山田錦(あわやまだにしき)」の田植え交流会が同JA本所会議室および管内の圃場で開催され、全国の酒蔵やJA関係者、当県本部などから約30人が出席しました。

交流会では、JAあわ市藤原潤治副組合長、当県本部米穀総合課棧敷高明課長のあいさつに続いて、同JA営農指導課土井哲課長より令和4年産実績・令和5年産作付け状況等について説明がおこなわれ、各酒蔵からは販売状況の報告がありました。

交流会終了後、参加者は管内の圃場(約6㍓)で、厳しい日差しと暑さのなか、汗を拭いながら一株一株丁寧に手植えによる田植え作業を体験しました。当県本部からは、新入職員4人が研修の一環として参加し、貴重な農業体験をすることができました。

JAあわ市(旧JA阿波町)では、平成7年(1995年)から品質を重視した阿波山田錦の本格的な栽培に取り組んでいます。酒蔵と生産者、JAがお互いの顔が見える信頼関係の中、安全・安心な酒米づくりを実践しています。



田植えを終えてドローン撮影♪



交流会の様子



田植えを行う参加者

～信頼される農産物検査員の養成へ～

令和5年度農産物検査員育成研修開講

6月19日、徳島県JA農産物検査協議会(会長=JA徳島市・井河勝淑宮農経部長)と当県本部は、板野町のパールライスセンター会議室で「令和5年度農産物検査員育成研修(基礎課程)」を開講しました。

当研修会は農産物検査員の確保・養成を継続し、県産米のブランド化を確立していくことを目的として毎年開催しています。

本年度の研修会には、県内の7JAから9人が受講し、6月19日から7月21日までの延べ14日間、同会議室や徳島県JA会館会議室で農産物分析や鑑定実習などの基礎課程講習を経て、農産物検査員としての知識や技能、検査方法などを学びます。

開講式では、当県本部米穀総合課の榎原圭課長代理が「農家組合員や消費者から信頼される検査員になれるよう研修に臨んでいただきたい」とあいさつをおこないました。

研修では、受講者は同協議会の井上昭講師から農産物検査員の職務や心得についての講義を受けた後、14日間に亘り講義や鑑定実習などに真剣に取り組んでいきます。



あいさつを行う米穀総合課の榎原課長代理



講義を行う徳島県JA農産物検査協議会の井上講師

～徳島県産甘藷の認知度向上と消費拡大を図る～

令和5年度徳島県甘藷消費拡大協議会総会

6月27日、徳島県甘藷消費拡大協議会(会長＝村上哲副本部長)は、徳島県JA会館において、県内JA、徳島県、卸売市場、当県本部より関係者20人出席のもと「令和5年度徳島県甘藷消費拡大協議会総会」を開催しました。

同協議会は、徳島県産甘藷の消費拡大を促進し、甘藷生産農家の経営安定と発展を図る活動に取り組んでいます。

総会では、▽令和4年度事業報告および収支決算▽令和5年度事業計画(案)および収支予算(案)▽役員改選(案)が審議され、満場一致で承認されました。

なお、令和5年度事業計画の主な取り組みは以下のとおりです。

- マネキン等を利用した量販店での消費宣伝の拡大
- 徳島県産青果物とのタイアップ
(徳島県産フェアの実施、メニュー開発)
- 県内外での小学生等を対象とした食育活動の実施
- SNS (Instagram、Youtube等)を利用した消費宣伝
- 食品メーカーとタイアップした消費宣伝
- OPR動画を活用した量販店での消費宣伝



あいさつを行う村上副本部長



会議の様子

～早堀り甘藷出荷5,006トンを計画～

令和5年産早堀り甘藷出荷協議会

協議会総会終了後、「令和5年産早堀り甘藷出荷協議会」を開き、令和4年産の販売実績と令和5年産の生産状況および出荷計画について報告をしました。令和5年産は梅雨入りが早かった影響もあり若干生育が遅れていますが、出荷計画は5,006トン(前年実績比101%)とし、7月上旬頃からの出荷開始を予定しています。

また、各市場担当者からは市場情勢の報告や産地に対して「選果選別を徹底し、安定出荷に努めていただきたい」といった要望などがありました。会議では、消費地での更なる市場拡大に向け市場との連携を強化し、早期に本県産の売場を確保して有利販売に努めていくことを出席者全員で申し合わせました。

令和5年産も安全・安心な甘藷の生産と出荷、的確な生産出荷情報の提供、積極的な消費宣伝活動の展開などを販売基本方針とし、関係者が一丸となって取り組み、「なると金時」のブランド維持と販売拡大を図っていきます。



会議の様子

マンスリーレポート

～徳島県産蓮根のイメージアップと消費拡大へ～

令和5年度徳島県蓮根消費拡大協議会総会

6月29日、徳島県蓮根消費拡大協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、徳島県JA会館において、県内JA、徳島県、県内市町村、卸売市場、当県本部より関係者26人出席のもと「令和5年度徳島県蓮根消費拡大協議会総会」を開催しました。

同協議会は、徳島県産蓮根の消費拡大を促進し、蓮根生産農家の経営安定と発展を図る活動に取り組んでいます。

総会では、▽令和4年度事業報告および収支決算▽令和5年度事業計画(案)および収支予算(案)▽役員改選(案)が審議され、満場一致で承認されました。

なお、令和5年度事業計画の主な取り組みは以下のとおりです。

- 卸売会社と共催した量販店での販促キャンペーンの実施
- 食品メーカーと連携した消費宣伝の実施
- 大手企業社員食堂での本県産蓮根を使ったメニュー提供
- 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどマスメディアや交通広告を通じたPR



あいさつを行う坂本県本部長



あいさつを行うJA大津松茂の佐々木組合長

～蓮根出荷3,846トンを計画～

令和5年産蓮根出荷協議会

協議会総会終了後、「令和5年産蓮根出荷協議会」を開き、令和4年産の販売実績と令和5年産の生産状況および出荷計画について報告をしました。これを受けて各市場担当者からは市場情勢の報告や産地に対する要望などがありました。

近年、京阪神市場における本県産のシェアが低下し、他産地に売り場をとられる状況が続いています。本県の強みである高品質な蓮根の安定出荷を通じて、早期の売り場づくりと積極的な試食宣伝を実施し、販売拡大に繋げることを出席者全員で申し合わせました。

本年産(令和5年6月～翌年5月まで)の出荷量は3,846トン(前年実績比103%)を計画しており、過去5年を上回っています。



会議の様子

～農作業を応援、農機の展示販売～

JA板野郡とJA東とくしまで 農機展示会開催

6月23日～24日、JA板野郡藍住農機SCにおいて「農機展示会・商談会」(主催=JA板野郡)が開催されました。

展示会場には、トラクター、コンバインなどの大型農機や小型機械、中古農機などが展示され、来場された生産者は機能や特徴を確かめていました。

また、6月30日～7月1日にはJA東とくしま小松島農機SCにおいて「JA東とくしま小松島農機SC・サマーフェスティバル」(主催=JA東とくしま)が開催されました。

両会場とも、生産者が実際に農機に触れたり、JA担当者や全農本所徳島農機事務所職員に熱心に質問する場面が見られました。また、来場者への記念品プレゼントもあり、期間中多くの生産者が次々に訪れていました。



農機展示会・商談会の様子(JA板野郡藍住農機SC)



サマーフェスティバルの様子(JA東とくしま小松島農機SC)

～最新の商品知識を習得し業務推進へ～

農業機械新製品発表会

6月27日、本所耕種資材部中四国広域農機事業所徳島農機事務所は、徳島県JA農機協同事業体拠点職員や系統農機職員をはじめ、メーカーなど関係者約50人出席のもと、「農業機械新製品発表会」を当県本部会議室および物流センター前で開きました。

この発表会は、メーカー各社の最新機種や商品などの農業機械に関する知識を習得し、業務推進につなげることを目的として開催したものです。

座学による研修では、新製品について、農機メーカー6社(ヤママーアグリジャパン(株)・みのる産業(株)・静岡製機(株)・やまびこジャパン(株)・(株)太陽・(株)中セキ中四国)の担当者が性能や特徴、推進時の注意点などの説明をおこないました。また、当県本部営農支援課濱堀職員によるザルビオフィールドマネージャー(衛星画像×AI分析による最先端の栽培管理支援システム)の説明や同システムの施肥マップデータに対応したスマート農機の紹介がおこなわれました。他にも、先端技術を搭載した機械や作業をアシストする製品など、各社工夫を凝らした製品についてカタログやDVD、実機による紹介がありました。

その後、物流センター前で、先端技術を搭載した新型のトラクターやラジコン草刈機などの説明、デモンストレーション・試乗会がおこなわれました。参加者は熱心に機能や操作性を確かめ商品知識を深めていました。



あいさつを行う徳島農機事務所の長所長



新型トラクターの機能や操作性を確認する参加者

マンスリーレポート

～栽培体験を通して食の大切さを伝える～

大阪の園児や小学生が農産物の食育学習

当県本部園芸部は、子どもたちに農産物を育てる大変さと喜び、また食べ物を大切に作る心や農家生産者の方々の思いやる気持ちを育んでもらうため、県内JAをはじめ、パートナー市場や関係機関と連携し定期的に小学校や幼稚園などでの栽培学習会を実施しています。

6月には、大阪府内の小学校2校と幼稚園にJA里浦、JA大津松茂から甘藷の苗が提供され「さつまいも食育学習会」が開催されました。

各小学校と幼稚園では、市場、県、本会の職員による、なると金時の特徴や苗の植え方、上手な育て方についての授業や圃場での植え付け作業をおこないました。子どもたちはスライドやクイズを交えた授業にとても興味を示し、楽しく植え付けを学び、食育を体験しました。



◆堺市立赤坂台小学校 6月5日、JA里浦、大阪南部合同青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、堺市南区の市立赤坂台小学校の1年生(48人)を対象に開催しました。

◆堺市立原山ひかり小学校 6月5日、JA里浦、大阪南部合同青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、堺市南区の市立原山ひかり小学校の4年生(56人)を対象に開催しました。

◆のびてゆく幼稚園 6月20日、JA大津松茂、大阪中央青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、高槻市の学校法人公文学園ののびてゆく幼稚園の年長組園児(91人)を対象に開催しました。

営農コラム

みどりの食料システム戦略が動き出す 営農支援課 技術主管 隔山 普宣

農林水産業の生産力の強化や持続性の向上を実現させるために策定された「みどりの食料システム戦略」がいよいよ現場で動き始めています。

令和3年に農林水産省から戦略の基本方針が発表され、徳島県では令和5年3月に「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」が策定されました。

県計画の基本理念は、徳島県における「持続可能な農林水産業の実現」を目指し、環境負荷低減技術やデジタル技術及び地産地消などの消費行動を通じて「みどり戦略実践産地」の創出を図っています。令和12年までの戦略目標は「化学農薬使用量を10%低減」、「化学肥料使用量の20%低減」、「有機農業の面積拡大(耕地面積に占める割合を1.5%に拡大)」となっています。

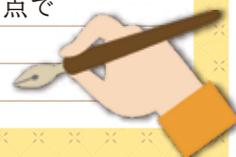
今年度から実施するブロッコリー栽培における環境負荷低減のための取り組みは次のとおりです。

①ソルゴーやクロタラリアなどの「緑肥作物」の導入やエコレット、新マトリックスなどの「混合堆肥複合肥料」の使用により、化学肥料の使用量を減らすとともに土づくりを行います。また、土壌診断を

実施し、適正な施肥を行います。②CR-1、CRおとり大根などの「おとり作物」や、緑竜、深碧などの「根こぶ病抵抗性品種」を活用して根こぶ病防除のための化学農薬を低減します。③マルチ栽培には「生分解性マルチ」を使用し、環境に対する負荷や作業性の改善を図ります。

水稻や各種野菜でも環境負荷低減の取り組みが行われる予定となっており、そこで得られた成果を今後県下全域に広げていきます。

また、JA全農は環境負荷を低減する技術や資材を体系化した「グリーンメニュー」を策定し、実践と検証を進め、全国へ普及を図ります。「グリーンメニュー」は、みどり戦略の取り組みに呼应し①堆肥入り混合肥料の活用、緑肥の導入など「化学肥料の使用量低減」②天敵農薬による防除、土壌還元消毒の実施など「化学農薬の使用量低減」③生分解性マルチの導入、環境配慮した包装資材の利用など「温室効果ガス削減」の三つの視点で体系化し、環境面での負荷低減を推進します。



料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



簡単トマトリゾット



▼材料(2人分)

米……………180cc
 トマト……………1個
 玉ねぎ……………1/2個
 プロセスチーズ……………20g
 バジル……………4枚
 にんにく……………1片
 オリーブオイル……………大さじ1

A { コンソメスープ、牛乳 … 各200cc
 塩、こしょう…………… 各少々



▼作り方

- ① 鍋にオリーブオイルとにんにくのみじん切りを入れて、弱火で香り良く炒める。
- ② 中火にして玉ねぎのみじん切りを加えてしんなりと炒め、洗米を入れてざっと炒める。
- ③ トマトのさいの目切りを加え、Aを注ぐ。
- ④ 蓋をして沸騰するまでは中火、沸騰したら弱火にして10分程炊いて蓋を開け、米に歯ごたえが残る程度に火を通す。
- ⑤ プロセスチーズとバジルを散らす。

POINT

米は優しく2回洗い、ザルに上げてから炊くと米粒が割れにくい。



料理研究家 HITOMI <http://www.hitomi-cook.com>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
 ◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演/ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会/大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師/神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西區民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など

うまいモノ絵日記



文：濱堀秀規 イラスト：ちっちゃん

その158 ～半田そうめん～

◆そうめんの季節◆

徳島のご当地麺といえば「徳島ラーメン」「御所たらいうどん」「半田そうめん」「祖谷そば」と麺街道が連なる。夏はやっぱり、半田そうめんが決まりだ。

短時間でささっとゆでれば出来上がるし、市販のめんつゆを用意すれば、即、つるつると口に運んで完了。お手軽である。

◆そうめんつゆのこだわり1◆

私は断然ストレート派。2倍濃縮や3倍濃縮とかあるが、薄めない1倍のストレートが好みである。2倍や3倍にして、おいしくなった記憶がない。単に薄めるのが下手なだけである。

◆そうめんつゆのこだわり2◆

めんつゆに、ポン酢をちびっと混ぜるのが、こだわりである。

私は酸っぱさが好きなんだろうと思うが、こうすれば、刺激が効いてうまいと感じる。だから本当は味音痴かもしれない。

◆夏バテでも、何か口に入れて、体力を保ちたい。◆

今年の夏も暑そうだが、皆も何か口に入れて、体力を保って欲しい。また、電気代が上がったので、クーラーを

節約している方もいると聞いているが、くれぐれも体が資本であり、体を壊したら元も子もないので、体調第一にして欲しい。

◆暑い夏を乗り切るには◆

食べ物と睡眠であるから、この2つを十分に気にとめて、暑い夏を半田そうめんでも乗り切って欲しい。食って寝れば体力は戻るさ。と考えていた私も、還暦を過ぎて、回復力が遅くなった。友人や知人も体を痛めたり、恩師や元上司も幾人かが、亡くなってしまった。人間寄る年波には勝てないので、十分に留意してほしいものである。人生100年時代と言われるが、確実に天国か地獄かに行くことが近づいている年になっても、おいしいモノを食べたいと食い意地は衰えないので、まだ大丈夫かもしれない。



交通安全のお知らせ

令和5年度 交通マナーアップ推進県民運動

県民一人一人が、人優先の交通安全思想を基本として、「ゆずる心」と「待つゆとり」を持ち、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努め、実践することにより交通事故の防止を図ることを目的とした県民運動が開催されます。

1 期間

令和5年7月1日(土)から7月31日(月)まで

◎県下一斉シートベルト着用キャンペーン等の実施 7月20日(木)

2 運動の重点

県民ドライバーの交通ルールの遵守と交通マナーの向上～交通事故防止に向けたマナーアップの推進～

3 推進項目

○横断歩行者保護等交通マナーアップの向上

本年5月末までに県内で発生した交通死亡事故13件のうち、約半数が横断歩行中の事故でした。

横断歩行者優先の気持ちで、思いやりのある安全運転を心がけてください。

歩行者の方は無理な横断はせず、左右をよく確認してなるべく横断歩道を渡りましょう。斜め横断は危険ですまた、反射材用品を着用し、自分の存在を周囲に知らせましょう。

○全ての座席におけるシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底

交通事故の際、シートベルト等を正しく着用していないと、死に至る

ケースが生じる可能性があります。また、同乗者のシートベルト等の着用は、運転者の責務です。全座席において、シートベルト等の正しい着用の徹底をお願いします。

○自転車安全利用の促進

～自転車乗車用ヘルメットの着用推進～

ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった方の半数以上は、頭部を損傷しています。ヘルメットの頭部保護効果は大きく、生死を分けるということを忘れず、自転車に乗る際は必ず、ヘルメットを着用してください。

交通マナーアップ宣言

- わたしたちは
- 1 歩行者の保護に努めます。
 - 2 飲酒運転は絶対にしません。させません。
 - 3 全席でシートベルトを必ず締めます。
 - 4 運転中はスマホや携帯電話を使用しません。
 - 5 自転車乗車時はヘルメットを着用します。

徳島県警察本部 交通企画課



令和5年度 全農徳島県本部OB会総会

6月26日、全農徳島県本部OB会は「令和5年度全農徳島県本部OB会総会」を徳島市内のホテルで開催し、会員など31人が出席しました。

総会では、吉本耕一OB会会長のあいさつの後、慶弔基準により満80才を迎えた神戸克佳氏に記念品の贈呈をおこないました。続いて、①令和4年度事業実績および収支決算②令和5年度事業計画および収支予算③会則・役員選出基準の見直し④役員改選(案)についての協議がおこなわれ、出席者全員一致で承認されました。

なお、新会長には大西公宏氏が選任されました。総会に引き続き開催された懇親会では、吉本会長の音頭で乾杯をおこない、1年ぶりの再会に会話も弾み、楽しいひとときを過ごしました。



あいさつを行う吉本耕一OB会会長

広報室

～JA全農とくしまYouTubeとInstagramで発信～ 料理バトルで徳島県産米をPR!

当県本部企画管理課広報室は、令和4年度から米料理バトルシリーズのYouTubeを発信しています。この企画は、若い世代の米離れ対策や徳島県産米のPRを目的としています。

第3弾までは、広報室の仁木室長と米穀総合課の福田職員が『チャーハン』、『寿司』、『おにぎり』で対決したYoutubeを発信するとともに、視聴者が食べてみたいほうの料理を選んで投票し、抽選で「あきさかり2kg」をプレゼントする視聴者参加型キャンペーンを同時に実施しました。

第4弾も『炊き込みご飯』で同様のキャンペーンをおこないますので、7月下旬配信予定のYouTubeをご視聴いただき、ぜひご参加ください。

詳細は下のURLかQRコードでアクセスしていただくか、「JA全農とくしまYouTubeチャンネル」を検索しご覧ください。

また、YoutubeでPRしている徳島県産米「あきさかり」はJA全農が運営するオンラインショップJAタウン「新鮮大好き徳島」でも扱っています。



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



ユーチューブ撮影の様子

我国最高の紙袋 **インライン** 製造システム
省資源タイプで強靱な **サトクロスラム** 多層FILM

【営業品目】◆重包装用紙袋 ◆ポリ重袋 ◆樹脂クロス袋 ◆精米袋 ◆クロスラム
◆ストレッチフィルム ◆化繊袋(ネット袋) ◆フレキシブルコンテナバッグ



佐藤産業株式会社

URL: <http://WWW.satoh-sangyo.jp/>

**SATOH
SANGYO
GROUP**

本 社：東京都文京区本郷 1-4-4(佐藤ビル) TEL(050)3823-4056 FAX(03)5684-7114
大阪支社：神戸市東灘区住吉浜町 18 番地 TEL(050)3823-4062 FAX(078)811-2343
営業部店：東京営業部(050)3823-4057 名古屋営業部(050)3823-9340
大阪営業部(050)3823-4063 福岡営業部(050)3823-9342
営業 所：秋田・山形・福島・千葉・水戸・金沢・岐阜・福井・兵庫・岡山・徳島・大分・鹿児島
工 場：秋田・石岡・成東・各務原・福井・神戸・新見・鹿児島
関連企業：株式会社サトー東京・水戸・株式会社モブランニング・株式会社興産・桐ヶー・パッケージ

「お気に入りのご当地を紹介！」

2023

お弁当

応募期間

～9月15日(金)

小学生対象

(消印有効)

レシピコンテスト

住んでいる地域、日本の好きな場所、ふるさとなどの食材や料理を紹介しよう!

最優秀賞 1名

- ・お米 1俵 (60kg)
- ・図書カード 1万円分
- ・JAタウンギフトカード 1万円分

優秀賞 2名

- ・お米 30kg
- ・図書カード 5千円分
- ・JAタウンギフトカード 5千円分

特別賞 7名

- ・お米 10kg

努力賞 10名

- ・お米 2kg

- ・入賞者全員に共通副賞として、賞状、ニッポンエール商品、冊子などを贈呈
- ・入賞作品を「作って食べよう!お料理レシピ」サイトへ掲載

応募のきまり

- 小学生対象
(お家の人に少し手伝ってもらっても構いません)
- 主食がお米(ご飯)であること
- ご当地感(住んでいる地域、日本の好きな場所、ふるさとなどのご当地食材・ご当地料理など)を取り入れたお弁当であること
- 上記を満たしたお弁当レシピと写真を送る
- 応募者1人につき、2作品まで

審査基準

- 工夫、作りやすさ、見た目、美味しさを、料理研究家が総合的に判断します。

留意事項

- 応募用紙は全農ホームページ(リリースページ)にご用意しております。
- 応募作品は返却しません。
- 作品の権利は主催者に帰属します。

応募用紙はこちら

<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2023/95084.html>



発表

- 11月頃に全農ホームページにて発表、入賞者には賞品の発送をもってかえさせていただきます。

送り先

- 郵送の場合
〒194-8691 町田郵便局私書箱 13号
JA全農 お弁当レシピコンテスト係
- メールの場合
件名「JA全農 お弁当レシピコンテスト」と明記
宛先 jaobentou@cpm-net.jp
※メール応募の場合、返信メールをお送りします。
※メールが届かない場合は再度ご確認ください。

問合せ

- メールでお願いします jaobentou@cpm-net.jp
- 応募に関するQ&Aが全農リリースページにあります。

Twitterアカウント「全農広報部 食農応援 (@shokuikuzennoh)」にて途中経過なども発信しますので、フォローしてチェックしてね。

主催 CPM生活者マーケティング株式会社

協賛

全農

全国農業協同組合連合会

全農

パルティス株式会社

みんなが トクする JAでんまき

JAだから

- 簡単!
- 安心!
- 安い!

JAでんまきとは

組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気です。切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

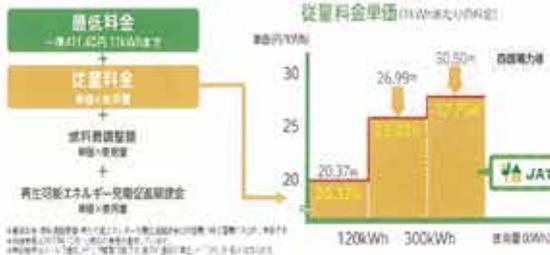
実施中！ おトクキャンペーン

最大 3,000円

JAでんまきへの新規お申込みで
3ヶ月間 毎月1,000円(税込)おトク!

料金メニュー (従量電灯Aの場合)

JAでんまきの料金体系



切替えによるおトク額 (上記の場合)

	2人家族	4人家族	6人家族
月間使用量	300kWh	400kWh	500kWh
月間電気料金	7,489円	10,539円	13,589円
JAでんまき 月間電気料金	7,297円	10,072円	12,847円
年間おトク額	2,304円おトク!	5,604円おトク!	8,904円おトク!

組合員の皆さん！
電気代見直しませんか？

JAでんまきに切り替えると

< 4人家族の場合 >

約5,600円もお得に！

- ※1 上記はご家庭で契約される一般的な料金メニューによる試算です。
- ※2 お得額は大手電力会社の従量メニューとの比較です。
- ※3 使用量・プランによってはおトク額が異なります。

詳しくは、JAでんまき ホームページまで

JAでんまき 検索

http://www.ja-denkiki.co.jp/ja-denkiki/





阿波ふうど
AWA FOOD

徳島の なし

シャリツと
ジュフツと
たまごころです



幸水は酸味が少なく甘みが強く、
果肉はやや柔らかいので食べやすい。
果実が重たいのが特徴です。



豊水は通常よりさらに多汁です。
ほどよく酸味があるのも特徴。
幸水に比べると甘みがあります。

幸水は7月中旬から8月中旬、
豊水は8月中旬から9月中旬まで出荷しています。

JA全農とくしま・徳島県なし消費拡大協議会



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

